

災害対応にかかる中央共同募金会の取り組み

被災地で活動するボランティアやNPOを活動支援金により支えるしくみ

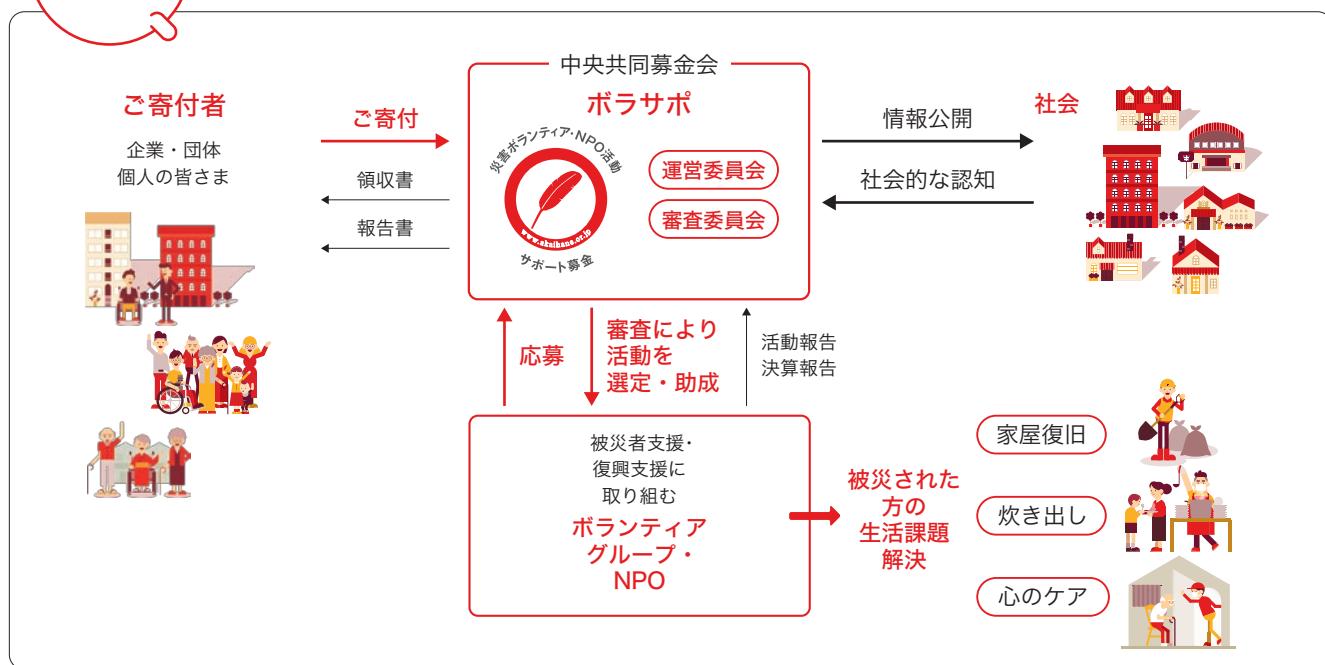


ボラサポの
しくみ

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)は、風水害や地震等の災害で被災された方々の生活を取り戻すため、ボランティアグループやNPO等が直接行う活動を支える資金支援のしくみとして、寄付金(活動支援金)の募集と支援活動に対する助成を行っています。

平成23(2011)年に発災した東日本大震災をきっかけに始まり、この間多くの寄付者の皆さまからのご支援により、ボラサポでは累計1.7万件の活動団体に、総額70億円の助成を実施してきました。令和6(2024)年度は、令和6(2024)年1月1日に発災した「令和6年能登半島地震」、2024(令和6)年7月の「令和6年7月大雨災害」において、助成公募を実施しました。「令和6年能登半島地震」では発災以来、令和6(2024)年度中だけで6回(令和5年度から累計7回)の助成決定を行いました。

ボラサポでは、こうした被災地で活動するボランティアグループやNPO等を資金面から後押しすることで、寄付者の皆さまからお預かりしたご寄付とその想いを活動団体につなぎ、被災地の一日も早い復旧・復興に向けて、被災された方々に寄り添った支援を続けていきます。



►「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」運営委員・審査委員(敬称略)

有識者による運営委員会・審査委員会を設置し、ボラサポの運営や助成審査を行っています。

■ 運営委員会

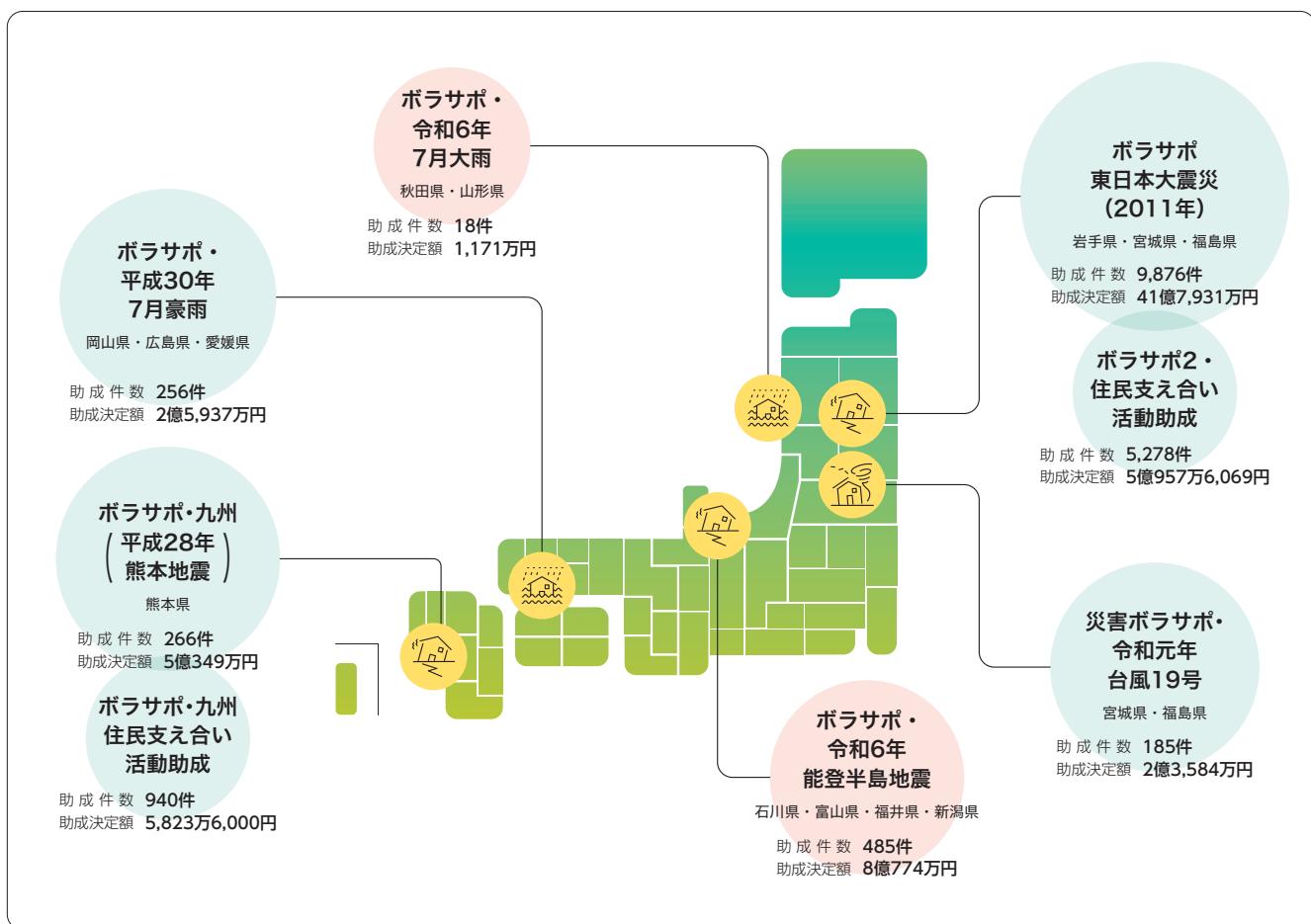
委員長	山崎 美貴子	東京ボランティア・市民活動センター 所長
副委員長	菅 磨志保	関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科 准教授
委員	諫訪 徹	日本大学 文理学部 社会福祉学科 教授
委員	益子 千香	一般社団法人日本経済団体連合会 ソーシャル・コミュニケーション本部 上席主幹
委員	明城 徹也	特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事務局長
委員	吉田 建治	特定非営利活動法人日本NPOセンター 事務局長
委員	高橋 良太	社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部長 全国ボランティア・市民活動振興センター長
委員	川久保 重之	社会福祉法人中央共同募金会 常務理事

ボラサポの累計助成実績(平成23(2011)年度から令和6(2024)年度まで)

累計助成件数 **17,753件**

累計助成総額 **70億1,503万7,818円**

令和6(2024)年度に発災した災害および過去の災害^{*}への支援状況



* 令和6(2024)年度に発災した災害及び、それ以前に発生した災害に係る助成決定額2億円以上のボラサポに限って記載

■ 審査委員会

(2025年7月1日現在)

委員長	菅 磨志保	関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科 准教授
委員	菅野 道生	淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 教授
委員	鈴木 昭紀	Yahoo! 基金 事務局長
委員	前田 昌宏	日本生活協同組合連合会 組織推進本部 地域コミュニティグループ ブループマネージャー
委員	森 純一	東京ボランティア・市民活動センター 副所長
委員	山崎 博之	社会福祉法人長野県社会福祉協議会 まちづくりボランティアセンター 主査
委員	青木 ユカリ	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター 常務理事・事務局長
委員	青山 織衣	社会福祉法人大阪ボランティア協会
委員	細川 日向	NTT東日本株式会社 防災研究所 防災研究部門 地域防災推進担当

令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨助成概要

令和6(2024)年1月1日に発生した能登半島地震は最大震度7を記録し、石川県、富山県、新潟県、福井県などで甚大な被害が発生しました。また、同年9月21日から23日にかけて記録的な豪雨となり、奥能登地域を中心に河川の氾濫や土砂災害などさらなる被害が発生しました。

被災地では、今なお復旧・復興に向けて、被災家屋の片づけや修理、被災された方の心身のケアのほか仮設住宅等での見守りや孤立を防ぐためのサロン活動など多くのボランティアグループやNPO等による長期的な支援が実施されています。

こうした状況をうけ、令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨により被災された方を支えるため活動するボランティアグループやNPOの活動を資金面で支えるため、「災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ・令和6年能登半島地震)」へのご寄付を原資として、2か月に1度のペースで助成公募を行い、426件の活動団体に対して、総額7億1,870万円の助成を実施しました。

ボラサポ・令和6年能登半島地震

令和6年度中の
助成決定件数 **426件**

助成決定額 **7億1,870万円**

プログラム	応募件数	応募額	決定件数	決定額
第2回	106件	2億 927万円	90件	1億5,931万円
第3回	107件	2億1,641万円	73件	1億3,959万円
第4回	100件	1億6,902万円	80件	1億2,300万円
第5回	70件	1億 843万円	51件	6,932万円
第6回	88件	1億5,362万円	70件	1億1,048万円
第7回	83件	1億5,848万円	62件	1億1,700万円
合計	554件	10億1,523万円	426件	7億1,870万円

事例 ボラサポ・令和6年能登半島地震助成

「顔が見える関係」による ボランティア派遣・被災者支援活動

特定非営利活動法人 CFFジャパン(東京都世田谷区) 助成決定額 **202万円**

令和6(2024)年2月以降毎月ボランティアを募集し、青年世代とともに主に七尾市中島町を中心に能登半島地震で被災した家屋の片づけや地域イベントのサポートなどを行いました。

同じ地域に毎月継続的に訪問することで「顔が見える関係」を築くことができ、住民や地域内外の支援団体との情報共有・連携をもとに、時間の経過とともに変わる震災後の地域の状況やニーズに合わせて活動を構築することができました。

活動の成果

- 「顔が見える関係」を礎に、地域の各家庭で行われてきた「おはぎづくり」など住民主体のイベント開催や交流の場づくりなどを行うことができました。
- のべ120名以上の青年たちと活動を築くなかで、地域のファンになり継続的に活動に参画する青年が生まれており、今後の同地域の担い手の一部になりうる関係人口の創出にもつながっています。



地域のマルシェお手伝いのようす

担当者の
声



理事
宍倉みのりさん

ご支援ありがとうございます。“地域のために”とまっすぐに向き合えるのは、ご支援くださるみなさまのおかげです。みなさまのお力添えをもとに、青年たちとともに、地域の希望・未来に繋がる活動を築いてまいります。

令和6年7月大雨災害 助成概要

令和6(2024)年7月25日からの大雨の影響により、秋田県及び山形県で人的被害や住家被害が発生しました。被災した家屋の片づけや土砂の搔き出しなどのボランティアグループ・NPO等の活動を支援するため、令和6年7月大雨の災害を特定した寄付の募集を行い、被災地において支援活動を展開する活動団体への助成を実施しました。

令和6年7月大雨災害

助成決定件数
18件
助成決定額
1,171万円

事例 ボラサポ・令和6年7月大雨助成

Go! Action! 蔵岡! かみふうせんあったかサロン

ヤマガタ防災・減災Action!（山形県山形市）

助成決定額 **47万円**

山形県最上郡戸沢村に設置された避難所の環境整備や、避難所内の居場所づくりの活動などを行いました。

また、被災者の心のケアや個別ニーズに対する専門的支援へのつなぎも念頭に、コミュニティ支援としてサロンも実施しました。



- 高校生や大学生などの若い世代とともに被災地で活動した結果、ボランティアを通じて住民と多様な世代がつながることができました。また地域に興味を持つ大学生が生まれるなど、今後の被災地復興の活動にも結びつけることができました。



担当者の
声



代表
細谷真紀子さん

山形県内で事前防災の普及活動を実施している団体として、もともと関わりのある戸沢村で何かできることはないかと考えましたが、支援に使える財源がありませんでした。そんななか、皆さんからいただいた寄付金を使わせていただき、被災者の皆さんに寄り添えたことはとても有難く、皆さんの思いを届ける橋渡し役となれました。今後の被災地での活動や事前防災で関わる地域への防災力強化へ活かしていきたいと思います。

▶令和6(2024)年度にボラサポで実施した支援状況

「ボラサポ・令和6年能登地震」及び「ボラサポ・令和6年7月大雨」の助成金により、多くの被災者に支援を届くことができました。

ボラサポの活動により支援した対象者数 ▶▶ のべ **354,980名**

ボラサポで活動したボランティア数 ▶▶▶▶ のべ **94,052名**

▶令和6(2024)年度 ボラサポ収支のご報告

収入額		234,085,547円
内訳	寄付金	231,423,225円
	その他	2,662,322円

※寄付金には特定の災害を指定しないボラサポへの寄付額23,964,099円を含みます

支出額		501,413,454円
内訳	助成金	436,011,699円
	事業費	65,401,755円

「ボラサポ(事前登録審査)」助成の実施

集中豪雨による水害や地震災害など、近年は毎年複数の災害が発生しており、発災時の被災地支援は我が国の大大きな社会課題となっています。

東日本大震災以降、ボランティアによる被災地での支援活動は広く社会的な認知を得るところとなり、なかでも、被災地支援活動に特化したNPOは支援における知見や技術を積み上げ、発災時の被災地における重要性はますます増してきています。

また、発災時には、NPOやボランティア、企業など多くの組織や個人による被災者支援活動が行われ、多種多様な支援活動のコーディネート機能を担ういわゆる「災害中間支援組織」が役割を果たしています。

県外から被災地に支援に入る実績のあるNPOと、被災地域で専門性を有するNPOやボランティアグループ等のコーディネートを行う「災害中間支援組織」が、資金の心配なく、速やかに活動を始められるよう、あらかじめ団体審査を行い、発災時に速やかに助成金を送金する「ボラサポ(事前登録審査)」助成を実施しました。

災害中間組織助成

助成決定件数 **8件**

助成決定額 **800万円**

被災地支援NPO助成

助成決定件数 **8件**

助成決定額 **1,600万円**

助成決定団体	団体所在地
特定非営利活動法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク(KVOAD)	熊本県
北の国災害サポートチーム	北海道
災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ	神奈川県
みえ災害ボランティア支援センター	三重県
災害支援ふくおか広域ネットワーク(Fネット)	福岡県
災害支援ネットワークちば(CVOAD)	千葉県
認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ	茨城県
埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」	埼玉県

助成決定団体	団体所在地
災害ボランティア愛・知・人	愛知県
一般社団法人四番隊	千葉県
特定非営利活動法人リエラ	大分県
一般社団法人災害支援ONE TEAM	奈良県
公益社団法人シャンティ国際ボランティア会	東京都
ReVA復興ボランティアチーム・上尾	埼玉県
一般社団法人おもやい	佐賀県
一般社団法人Wellbe Design	北海道

事例 「ボラサポ(事前登録審査)」被災地支援NPO助成

被災地緊急支援事業

特定非営利活動法人 **リエラ** (大分県日田市)

助成決定額 **200万円**

令和6(2024)年8月末に大分県を通過した台風10号により、大分県内1市で469棟の建物被害が発生しました。

片付けや清掃に必要な資機材の購入をするため、発災後すぐに助成金を請求し、ボランティアによる活動や被災者への貸与などに活用しました。

ボランティアのコーディネートや行政や社協との連携、調整なども行いました。

活動の成果

- 購入した資機材を災害ボランティアセンターへ貸与したことにより、ボランティア活動の環境を整備することができました。
- 社会福祉協議会と連携してニーズ調査を行い、被害を受けた家屋の復旧のための見立てと対応を行い、早期の復旧へつなげることができました。



担当者の
声

床の泥だし、洗浄のようす



事務局長
森山 甫さん

今回の災害は風水害のため、この助成金による即時性と柔軟性という強みを活かして活動ができました。NPOという特性上、こうした助成金は大変ありがたいです。この度はご支援いただきありがとうございました。

企業・NPOとの協働による災害時被災者支援

支援P

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議

令和6(2024)年度は、令和6年1月に発生した能登半島地震災害の継続支援ならびに7月に発生した秋田・山形での大雨災害、9月に発生した奥能登豪雨災害に対する支援活動を、中央共同募金会が事務局を担う災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)として、企業やNPOと協働して取り組みました。

※災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)は、被災者支援における災害ボランティア活動の活性化の一助となることをめざして、企業、NPO、社会福祉協議会、共同募金会等により構成されたネットワーク組織です。

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)の取り組みは右記2次元コードにて紹介しています。



1 企業との協働支援について

① 企業人ボランティアによる支援

能登半島地震災害では、インフラや道路の損壊により支援の担い手不足が課題でした。支援Pでは、被災地の災害ボランティアセンターの運営をサポートするため、支援Pの構成メンバーである日本経済団体連合会(経団連)と連携して企業人ボランティアを被災地に派遣し、支援活動に取り組みました。



七尾市の災害ボランティアセンターで活動の説明を受ける企業人ボランティアのようす

② 物資提供による支援

被災地の応急仮設住宅では、社会福祉協議会等による見守り支援が行われていますが、支援者が被災者宅を訪問する際に日用品を届けることがあります。支援Pでは、企業から日用品の寄贈をいただき、支援者が訪問しやすいように日用品をパック化して、被災地に届けています。



支援物資を配布しやすいように梱包するようす

③ 企業寄付による支援

支援Pでは災害が発生すると被災地の災害ボランティアセンターへ運営支援者を派遣していますが、これらの派遣は企業等のご寄付により運営しています。令和6(2024)年度は支援Pへ6,441,500円のご寄付をいただき、100人以上(述べ1,000人以上)の運営支援者を能登半島地震災害、秋田・山形での大雨災害の被災地に派遣し、災害ボランティアセンターの運営をサポートしてきました。

2 変化をみせる企業の災害支援

寄付や物資支援に加え、能登半島地震災害では災害ボランティアセンターの運営サポートなど、人的支援を行う企業が多く見られました。こうした状況をふまえて、支援Pでは、全国社会福祉協議会とともに、災害ボランティアセンターの支援や災害支援に関心のある企業とともに災害支援に関する勉強会を開催し、今後の災害に対する企業支援の可能性を検討しています。

東日本大震災 震災遺児支援事業の実施

震災遺児の
学業をサポート

震災遺児修学資金、中学校入学祝金、高等学校卒業祝金の給付

中央共同募金会では、東日本大震災で親などの養育者をなくした震災遺児(小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等に在学中の方)を対象に、返済の必要のない震災遺児修学資金の給付と、中学校入学祝金、高等学校卒業祝金の給付を行っています。

令和6(2024)年度支援内訳	
修学資金給付	1人あたり 282,000円 359名
高等学校卒業祝金	1人あたり 100,000円 45名
中学校入学祝金	1人あたり 100,000円 15名

災害時の企業・団体等の協力事業

「災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)」は、特定の災害時以外にも、常時ご寄付を受け付けています。個人寄付のほか、企業・団体等からの法人寄付・社員募金、店頭募金やイベント募金、寄付つき商品、製品の提供等さまざまな形でご協力をいただいています。その一部をご紹介します。

H₂Oサンタ



▶ チャリティーオークションによるご寄付

阪急・阪神百貨店をはじめとするH₂Oリテイリンググループの社会貢献団体のH₂Oサンタは、令和6年能登半島地震被災地支援として阪急うめだ本店の祝祭広場にて「世界にひとつだけのプライス」チャリティーオークションを開催されました。

阪急うめだ本店・阪神梅田本店の人気ブランドなどご協力により、世界にひとつだけのオリジナル衣装をまとめた『プライス』合計56体が展示され、すべて完売されました。

チャリティーオークションにご協力を頂いた皆さま、ありがとうございます。

住友精化株式会社



▶ 社員WEB募金箱によるご寄付

住友精化株式会社より「ボラサポ・令和6年能登半島地震、令和6年7月大雨災害、令和6年能登豪雨、令和7年大船渡火災」へ社員WEB募金箱を通じて役職員から寄せられた募金と会社からのマッチングギフトのご寄付をいただきました。

災害発災時はいち早く社員WEB募金箱を開設し社内に寄付を呼び掛けていただいている。

「被災地の方々が少しでも早く笑顔を取り戻せることを心よりお祈り申し上げます」など、あたたかいメッセージもお寄せいただき、募金にご協力をいただいた社員の皆さま、ありがとうございます。

ご存知ですか?

社員WEB募金箱



「社員WEB募金箱」とは、企業ごとに個別に設定した専用のネット募金URLにアクセスすることで、社員の皆さまがネットから寄付するしくみです。社員の皆さまにWEB募金箱のURLをお知らせいただくだけで、社内募金の告知ができ、寄付した社員の情報の取りまとめが可能となります。従来の社員募金に比べてCSR担当者のご負担が軽減されるため、2019年10月のスタート以来、多くの企業にご活用いただいている。中央共同募金会が「社員WEB募金箱」URLの開設を無料で行います。

詳細は、中央共同募金会 総務企画部 広報・募金推進室 koho@c.akaihane.or.jp(社員WEB募金箱担当)へお問い合わせください。

「ボラサポ・令和6年能登半島地震」 助成団体活動報告動画の公開 MOVIE

「ボラサポ・令和6年能登半島地震」の助成を受けて、被災された方々のための支援活動を行った3団体の活動報告動画を本会ホームページ・YouTubeで公開しています。また、活動内容や成果を30秒程度で紹介するショート動画を各団体2本ずつ公開しています。ぜひご覧ください。



本会YouTubeは
こちら



日本カーシェアリング協会動画

一般社団法人 日本カーシェアリング協会

災害で車を失った被災者や災害ボランティアセンター等に対して車の無償貸出を行いました。

支援協力企業・団体一覧

「災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)」等への ご支援ご協力企業・団体[令和6(2024)年度受付分]

(五十音順・敬称略)

▶「令和6年能登半島地震(令和6年能登豪雨)」へのご支援

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	ソフトバンク株式会社／ソフトバンクグループ株式会社 ／つながる募金にご協力いただいた皆さま
一般財団法人上田記念財団	SOMPOちきゅう倶楽部
一般財団法人H2Oサンタ	Daigasグループ “小さな灯”運動
SBクリエイティブ株式会社	武田薬品工業株式会社
株式会社NTTドコモ	日本航空株式会社
こうち生活協同組合	日本生活協同組合連合会
株式会社光和	株式会社日立産機システム
一般財団法人篠原欣子記念財団	フィリップ モリス ジャパン合同会社
STAND UP! JAPAN	株式会社フレイン
住友精化株式会社	

三井不動産商業マネジメント株式会社
三菱ケミカル・クリンスイ株式会社
三菱電機インフォメーションネットワーク 株式会社
株式会社ゆうちょ銀行
LINEヤフー株式会社「Yahoo!ネット募金」に ご協力いただいた皆さま
楽天グループ株式会社
楽天銀行株式会社

▶「令和6年7月大雨」へのご支援

一般財団法人上田記念財団	SOMPOちきゅう倶楽部
住友精化株式会社	日本航空株式会社

▶「ボラサポ」全般へのご寄付

花王株式会社	日本たばこ産業株式会社
J-CoinPay「ぱちっと募金」 (株式会社みずほ銀行)	株式会社日本テレビサービス
セントラル短資株式会社	パナソニック ハウジングソリューションズ 株式会社
東京センチュリー株式会社	ブックオフコーポレーション株式会社 (キモチ。)
日本イーライリリー株式会社	

株式会社八木熊
マツダ株式会社
三井ダイレクト損害保険株式会社
三井不動産商業マネジメント株式会社

▶その他災害支援へのご寄付

MS&ADインシュアランス グループ ホール ディングス株式会社	SOMPOちきゅう倶楽部
住友化学株式会社	第一三共株式会社
損害保険ジャパン株式会社	東洋建設株式会社
	日本生活協同組合連合会

三菱鉛筆株式会社
三菱電機株式会社
※災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 (支援P)

このほか多くの企業・団体の皆さんにご支援・ご協力をいただきましたことに心より感謝申しあげます。

※ご寄付の際に寄付申込書をご提出いただくなど、本会よりご連絡が可能であった企業・団体のうち、ご承諾いただいた場合のみ名称を掲載しております。
また、掲載にあたっては基準を設けさせていただきました。



CDSTおれんじびーす動画



夢かぼちゃ動画

CDSTおれんじびーす

学生ボランティアが、足湯を通じた心のケアや被災地域の家屋の片づけなど復旧活動に取り組みました。

特定非営利活動法人 夢かぼちゃ

被災された方々が気軽に集い、交流するサロン活動「ふれあい喫茶」を開催しています。